

サブラック内蔵用
下り増幅ユニット
品番 HEF7201
取扱説明書

DXアンテナ株式会社

このたびは、DXアンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。
 この装置を正しく理解し、ご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みください。
 お読みになった後は、いつでも見られるところに保存してください。

◎安全上のご注意



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。



警告

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

● テレビ受信関連工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。



● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
 火災や感電の原因となります。



● この製品は屋内専用です。屋外で使用したり、水がかかる場所や、水などの入った容器の近くなどで使用しないでください。火災や感電の原因となります。



● 万一内部に水などが入った場合は、すぐにサブラックの電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店もしくは工事店にご連絡ください。
 そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



● この製品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだりしないでください。火災や感電の原因となります。



● この製品のカバーを開けたり、分解したりしないでください。
 また、お客様による修理や改造はしないでください。感電やけがの原因となりますし、性能維持ができなくなり、故障の原因となります。



● 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにサブラックの電源プラグをコンセントから抜いてください。煙がでなくなるのを確認して販売店もしくは工事店に修理をご依頼ください。



● 雷が鳴り出したら、この製品には触れないでください。
 感電の原因となります。





注意

この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が怪傷を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

- この製品を暖房機の付近や高温になる場所では使用しないでください。火災や破損の原因となることがあります。
- この製品を湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。
- ぬれた手でこの製品の脱着をしないでください。感電の原因となることがあります。
- お手入れの際には、ベンジン・アルコール・シンナーなどは使わないでください。塗装がはげたり、変質することがあります。お手入れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。化学雑巾を使用する際には、その注意書に従ってください。



<販売店・工事店様の安全上のご注意－お客様もお読みください>



警告

この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- この製品は屋内専用です。屋外で使用したり、水がかかる場所や、水などの入った容器の近くなどで使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- この製品を暖房機や加湿器のそばなど高温になる場所、湯気が当たるような場所に設置しないでください。燃えたりして、火災や破損の原因となります。
- 取り付けネジや、ボルトや接栓は、締め付け力（トルク）に指定がある場合はその力（トルク）で締め付け、堅固に取り付け固定してください。落下や破損して、感電やけがや故障の原因となります。



目 次

1. 機 器 概 要	2
2. 特 長	2
3. 使用上の注意	2
4. 各部の名称と操作説明	3
5. 規格とブロックダイアグラム	
5. 1 規 格	4
5. 2 ブロックダイアグラム	4
6. 外 観 図	5

1. 機 器 概 要

この製品はサブラック（HSR-9022、HSR-9122）に装着して使用する下り増幅ユニットです。下り信号をCATVシステムに送り出す際、信号レベルの低下を補うのに最適です。

2. 特 長

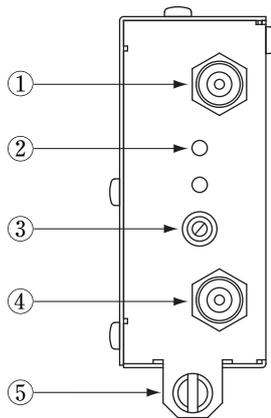
- ・サブラック（HSR-9022、HSR-9122）への脱着が容易に行えます。
- ・入出力レベルモニタとRF出力レベル調整ボリュームを備えているため、レベル設定が容易に行えます。
- ・サブラックに最大8台まで実装できる小型設計のため、多ノードシステムや光冗長システムにも小さなスペースで対応する事が可能です。

3. 使用上の注意

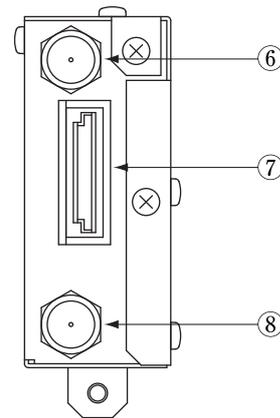
- ・サブラック（HSR-9022、9122）以外のもので使用しないでください。
- ・サブラックに装着する際は、サブラックのガイドに沿ってまっすぐにゆっくりと挿入し、ユニット固定ネジがサブラックに当たらないように注意しながら最後までしっかりと押し込んでください。その後、ユニット固定ネジでサブラックに固定してください。
- ・サブラックに装着後、電源パイロットランプ（緑）が点灯しない場合やユニットに異常が生じた場合は、当社のサービス係員にご連絡くださるようお願いいたします。
- ・ガイドからはずれたり、歪んだ状態で無理やりユニットを装着しますとサブラック本体または、本ユニットを破損する恐れがありますのでご注意ください。
- ・本ユニットを取りはずす際は、ユニット固定ネジをゆるめた後、そのネジとモニタ端子を持って手前に引き抜いてください。

※この製品を処分するときは、産業廃棄物として処理してください。

4. 各部の名称と操作説明



(前面)



(背面)

① 入力モニタ端子〔INPUT MONI -20dB〕

この製品へのRF入力レベルのモニタ端子です。RF入力信号に対して20dB低いレベルでモニタできます。

② 電源パイロットランプ〔POWER〕

この製品がサブラックに装着され電源が供給されるとLEDランプ（緑）が点灯し、動作状態であることを示します。

③ RF出力レベル調整ボリューム〔RF LEVEL〕（0dB～-10dB以上）

このボリュームの操作により、RF出力レベルを調整することができます。最大出力に対して反時計方向に回すとRF出力レベルを下げるすることができます。

④ 出力モニタ端子〔OUTPUT MONI -20dB〕

この製品からのRF出力レベルのモニタ端子です。この端子ではRF出力信号に対して20dB低いレベルでモニタできます。この端子でモニタしながらRF出力レベルが定格出力レベル以上にならないように注意してください。

⑤ ユニット固定ネジ

この製品をサブラックに取り付ける際、締め付けて固定してください。

⑥ RF下り入力端子〔FWD IN〕

RF下り信号の入力端子です。サブラック装着時、背面パネルの接栓に接続されます。

⑦ DC+24V電源入力端子〔DC+24V IN〕

DC+24Vの電源入力端子です。サブラック装着時、電源ユニットより電源が供給されます。

⑧ RF下り出力端子〔FWD OUT〕

RF下り入力端子⑥より入力された信号の出力端子です。サブラック装着時、背面パネルの接栓に接続されます。

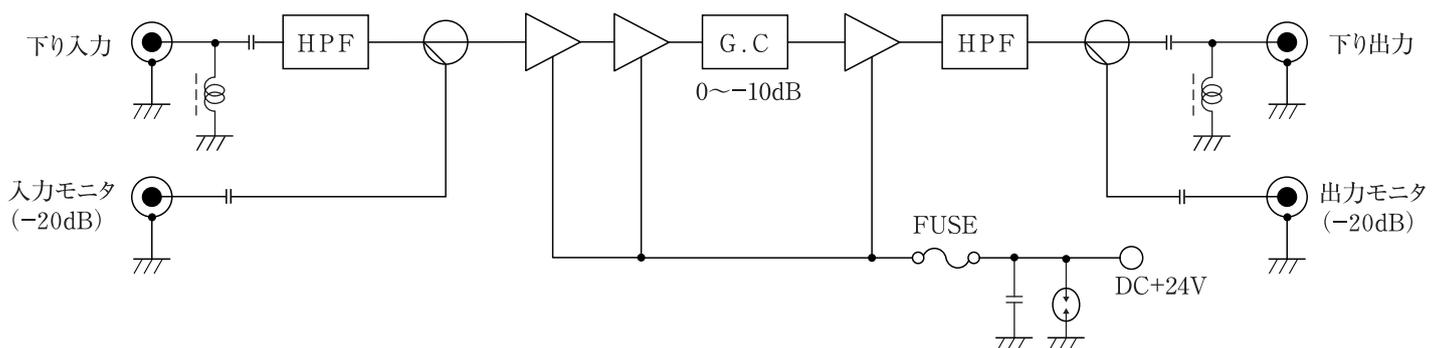
5. 規格とブロックダイヤグラム

5.1 規格

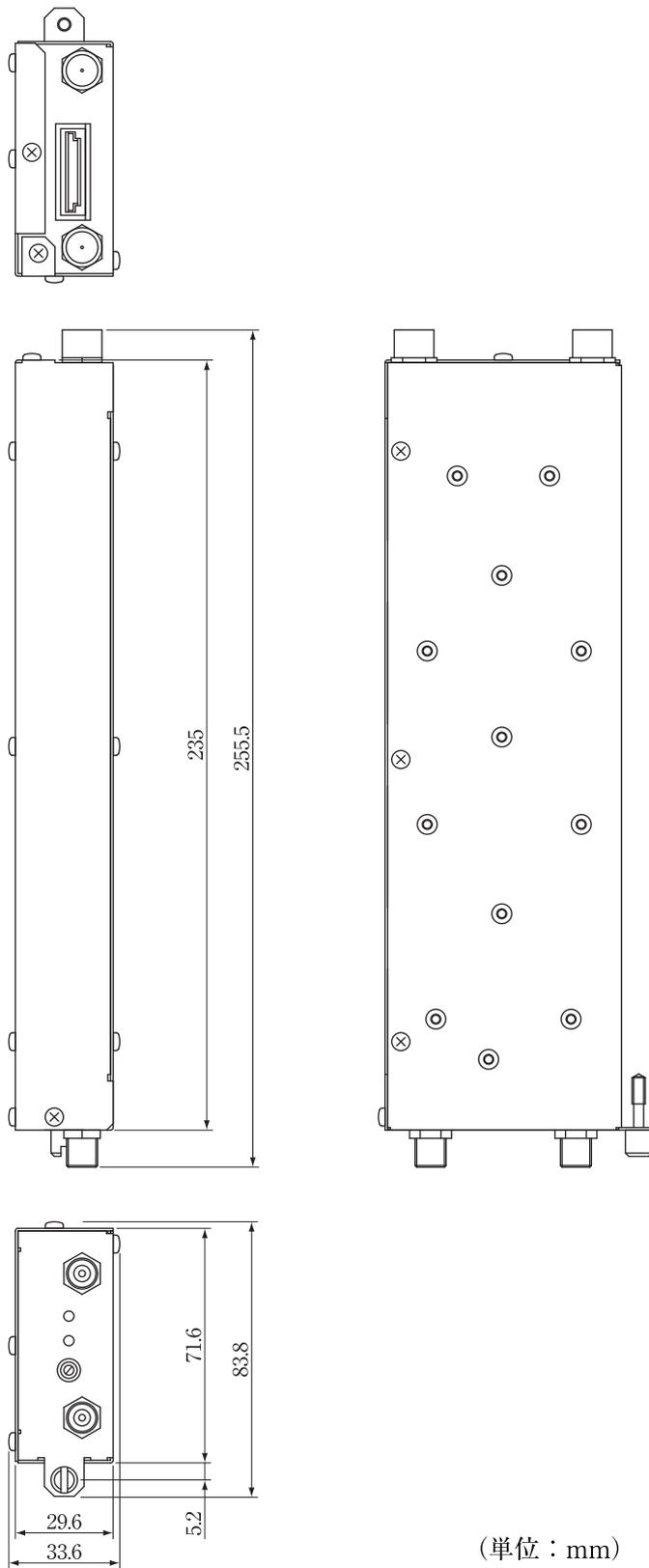
項目 (単位)	規格値	備考
伝送波数 (波)	74	+デジタル35波
使用周波数 (MHz)	70~770	
定格出力 (dB)	95 (74波)、106 (6波)、108 (4波)、111 (2波)	
標準利得 (dB)	20	
帯域内周波数特性 (dB)	±1.0以内	利得最大時
利得安定度 (dB)	±1.0以内	利得最大時
C S O + ビート (dB)	-65以下	利得最大、74波入力時
	-60以下	利得最大、6波、4波入力時
C T B (dB)	-60以下	利得最大時
相互変調 (dB)	-60以下	2波入力時
雑音指数 (dB)	8以下	利得最大時
利得調整 A T T (dB)	0~-10以上	連続可変
入力モニタ (dB)	-20	±1.0
出力モニタ (dB)	-20	±1.0
入出力インピーダンス (Ω)	75	
V S W R	1.8以下	
ハム変調 (dB)	-70以下	利得最大時
不要放射 (dB μ V/m)	34以下 (ICE法)	
耐衝撃波試験 (kV)	±15 (1.2/50 μ s)	
電源 / 消費電流 (V/mA)	DC+24/130	
使用温度範囲 (°C)	-10~+40	
外形寸法 (W×H×D) (mm)	33.6×83.8×255.5	
質量 (kg)	0.46	

※ 規格は改良により、変更させていただくことがございますので、あらかじめご了承ください。

5.2 ブロックダイヤグラム



6. 外 観 図



HEF7201